



えっ!?

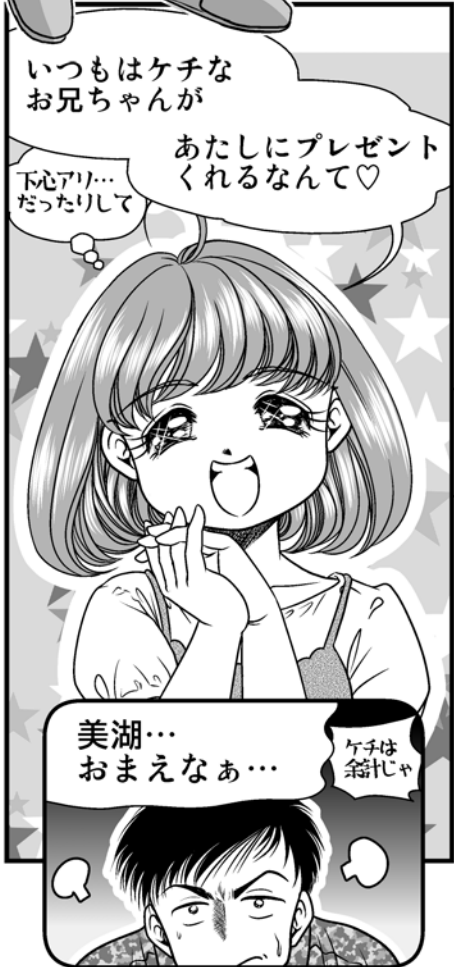
まさか...
ComicStudio
コミスタ!?

コレすごく
欲しかったの!

ComicStudioがわかる!

Chara-Com Card Making Tips
キャラコミメイキング

Presented
by
ねぐら☆なお



いつもはケチな
お兄ちゃんが

あたしにプレゼント
くれるなんて♡

下心アリ...
だった!して

美湖...
おまえなあ...

ケチは
爺じゃ



でもホント
どういう風の
吹き回し?

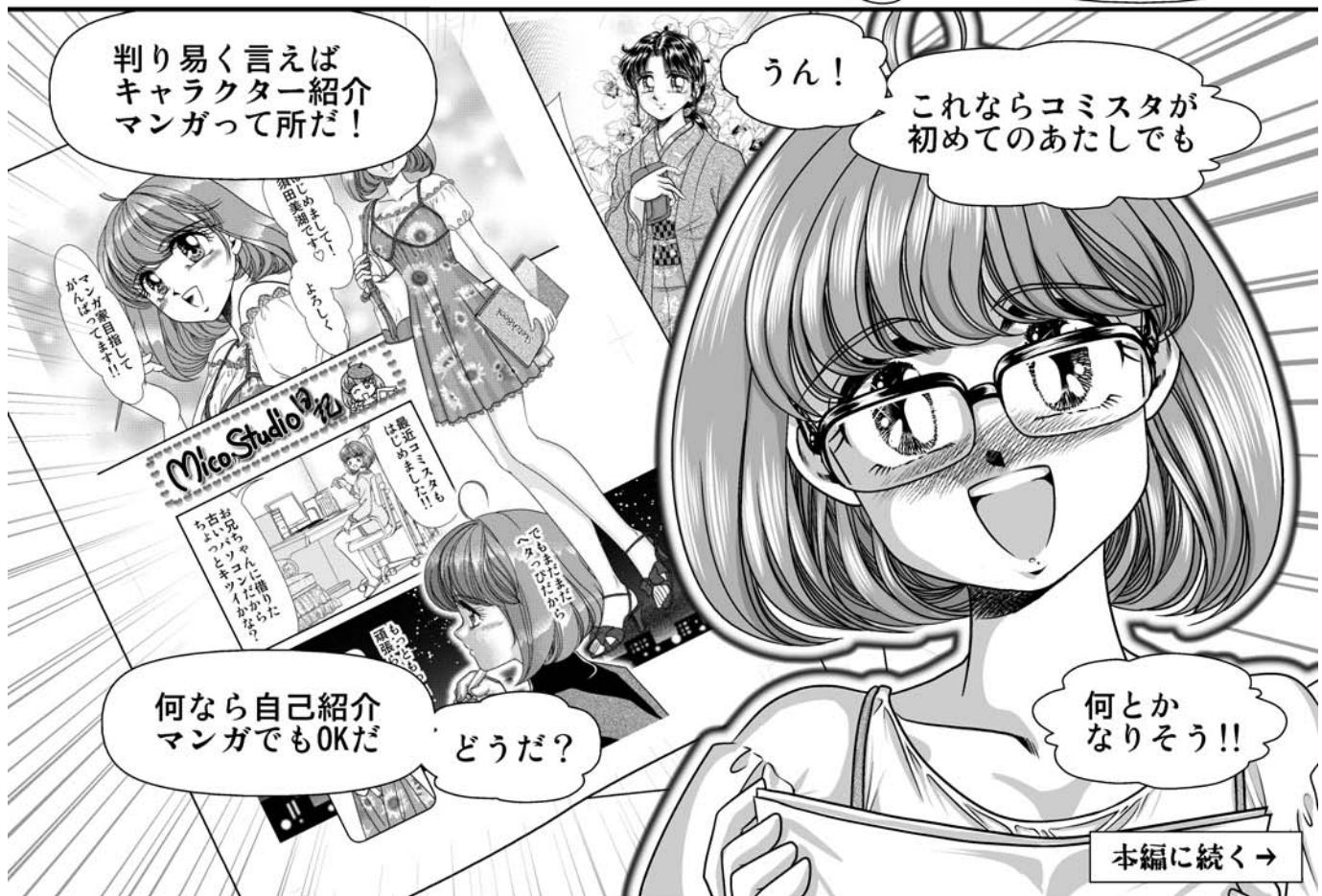
...人の好意くらい
素直に受止めるよ

...え?

コミスタを一通り
使えるようになるまで



俺がざ〜っと
教えてやるよ



第一回

ComicStudioでキャラコミカード



■キャラコミカードとは？

「キャラクター」

||
「コミック」

||
「カード」

本講座の造語です。

「キャラクター紹介マンガ」...と言う感じてでしょうか？自分の作風・作品・オリジナルキャラそして、自分自身を紹介する「名刺」のようなイメージで「カード」と名付けてみました。

「キャラコミカード」の製作を通じ、ComicStudioで「作品」を作り上げて行く手順の一例を説明します。

■どちらを「新規作成」？

まず最初に、新しい「原稿用紙」を用意する必要があります。「ファイル」→「新規作成」→から「作品」か「ページ」のどちらかを選びます。

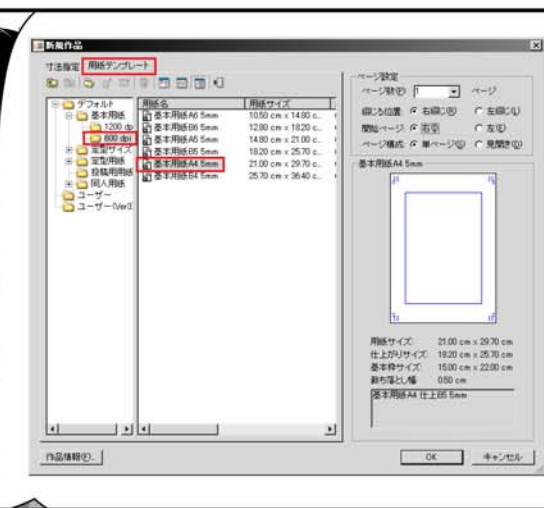


●「ページ」

単独のページを作成します。ページ番号やノンブル・作品情報の設定が出来ません。原稿用紙を一枚だけ袋から出したような状態です。

●「作品」

同サイズで複数の「ページ」をまとめて一つの「作品」として一気に用意します。ページ番号やノンブル・作品情報を設定できます。原稿用紙を必要枚数出して、あらかじめ通し番号を付けたような状態です。



■ページ設定の変更は？

「作品」を作る場合「ページ数」「綴じる位置」「開始ページ」「ページ構成」を決めます。

各項目は後から変更可能です。

- 「ページ数」
作品ウィンドウ上でページの追加・削除が可能
- 「綴じる位置」「開始ページ」
「作品」→「綴じ位置・開始ページの変更」



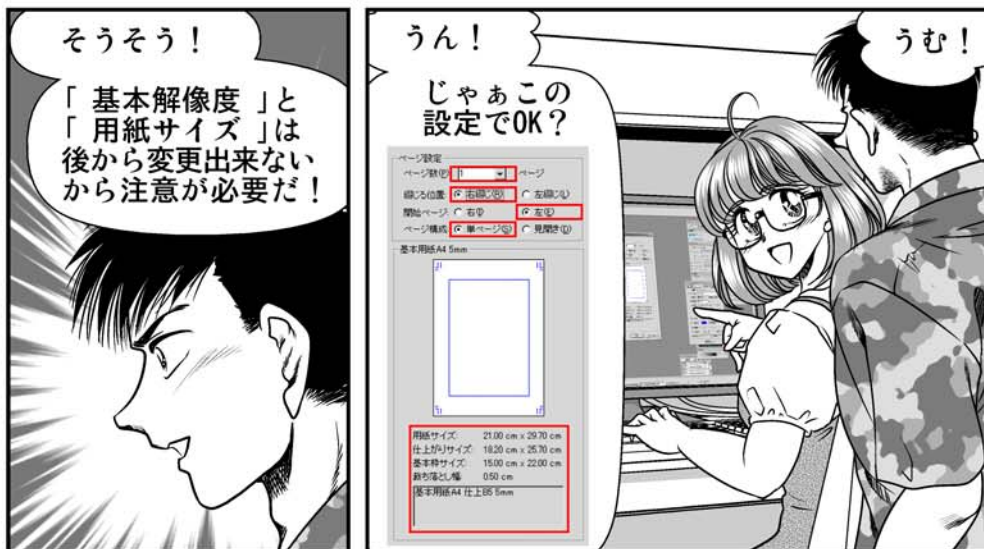
- 「ページ構成」
作品ウィンドウ上で任意の単ページ⇄見開きの変更が可能



■寸法指定時の注意点

左図は新規「作品」作成時のウィンドウです。

- 基本解像度
基本となる解像度。レイヤーの最高解像度はここで設定した解像度となります。後で変更は出来ません。
- 基本表現色
基本の表現色です。グレーを選んでカラーは使えます。
- 用紙サイズ
「原稿用紙」のサイズです。一般的には投稿用はB4、同人誌用はA4です。後で変更は出来ません。
- 内寸・仕上がり枠
印刷時の断裁サイズです。断切の場合、ここよりも外まで描く必要があります。
- 内寸・基本枠
マンガの基本枠サイズです。投稿用B4用紙の場合…18×27 cm
同人誌用A4用紙の場合…15×22 cm
オフセットの数値は、この基本枠を水平・垂直に移動させる場合に設定します。
- 裁ち落とし幅
仕上りの断裁時に切落とされる部分の予備領域。「ドブ」とも呼び、一般的に3mm取る事が多いようです。



■ComicStudioの書類

ComicStudioの書類は、複数のファイルで構成されています。cpgファイルやcstファイルは単体では全く意味を持ちません。移動やコピーを行う場合は、必ず各ファイルの階層を保つ必要があります。

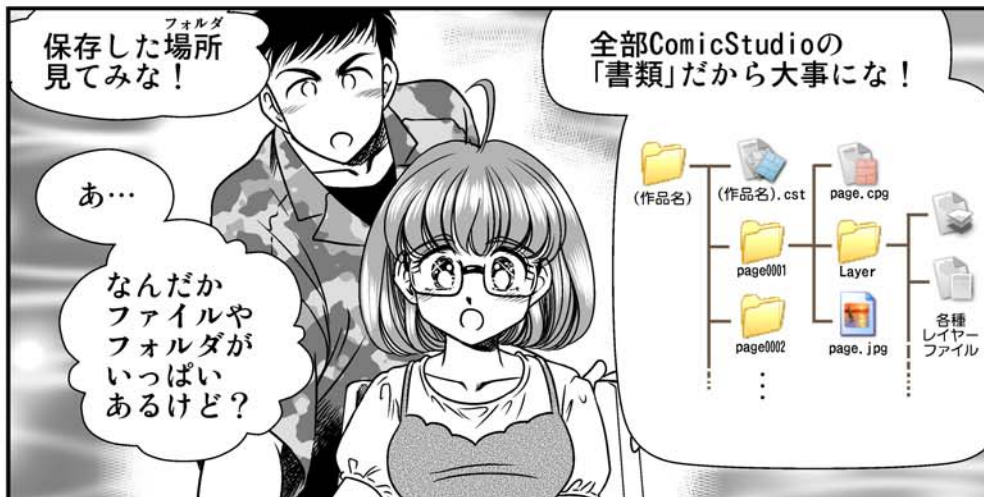
- 「作品」
(作品名).cst
page0001 (フォルダ)
:
pagexxxx

pagexxxxフォルダが、各ページのデータになります。cstファイルが「作品」のインテックスの様な役目です。

- 「ページ」
page.cpg
page.jpg
Layer (フォルダ)

Layerフォルダ内に、ページを構成するレイヤーファイルが入っています。cpgはページの構成を記録したファイル、jpgはページのプレビュー用の画像です。

cpgやcstファイルだけをバックアップして元ファイルを消去…泣く泣く一から描き直しという事にならないように要注意!!
(…なんと実話です!)





■ステップアップのためのスタンダードインターフェース



ビギナー用に用意されている「ビギナーズアシスタント」ではレイヤーの階層管理やマスクの処理など、一部の便利な機能の操作に制約が生じます。

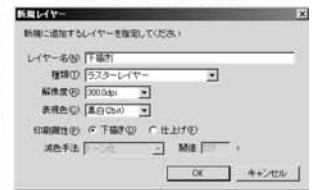
ComicStudioの機能をフルに使えば、より自由に作画をすることが出来ます。

そのためにも、この機会にぜひ「スタンダードインターフェース」で作画する練習をしましょう！

■ラスターレイヤーの書き用設定

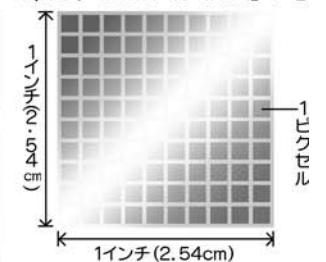
レイヤー名:(任意)
種類:ラスターレイヤー
解像度:150dpi/300dpi
表現色:黒(1bit)
印刷属性:下描き

とにかく軽く下描きがしたい
…解像度:150.0dpi
比較的軽く、割と細かく描ける
…解像度:300.0dpi



■解像度って？

画像の細かさを現す数値。1インチの中にくつの画素=ピクセルが並んでいるかを、dpiという単位で表しています。dpiは、「Dot Per Inch」の略



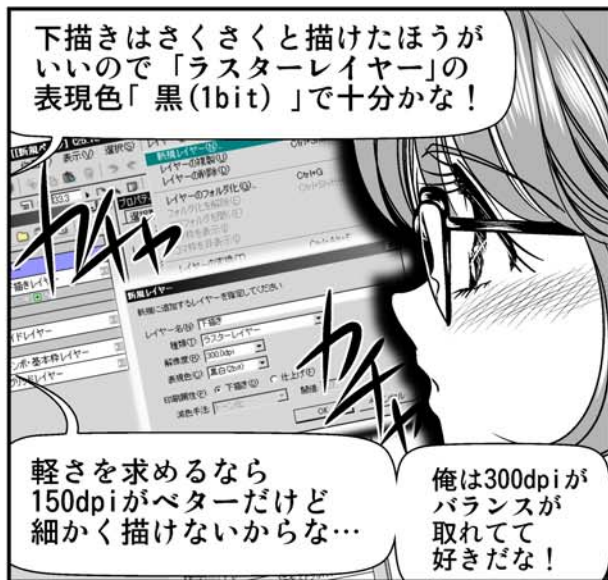
図は1inchに10ピクセル並んでいるので「10dpi」となります。

■bitって？

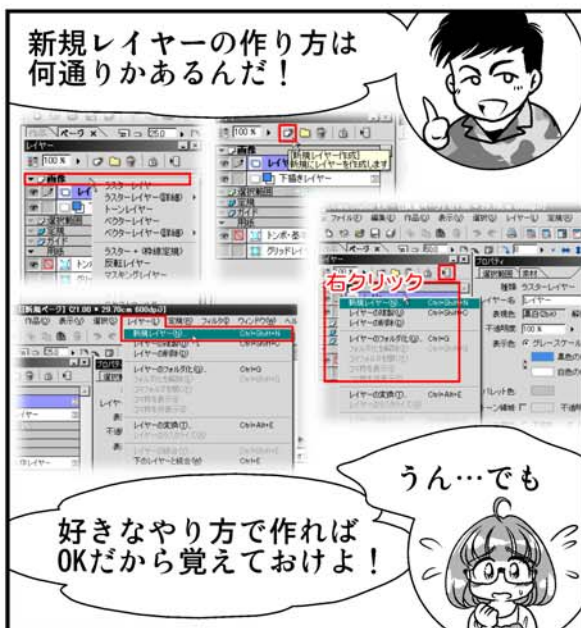
デジタルデータの最小単位です。色深度(使用できる色の数)は、bitで表されます。

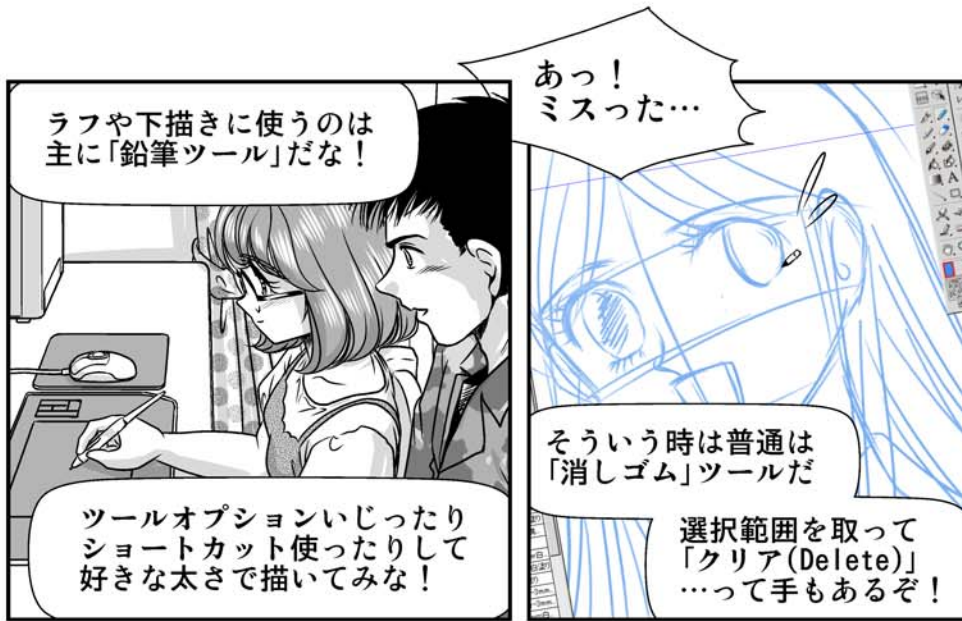
●ComicStudioでの「色深度」

1bit=2色…「黒」か「透明」
2bit=4色…「黒」か「白」か「透明」
8bit=256色…256階調の「黒」
32bit=16,777,216色×256段階の不透明度



俺は300dpiがバランスが取れて好きだな!



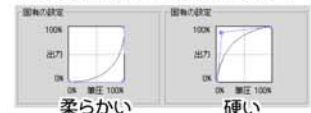


■鉛筆ツール

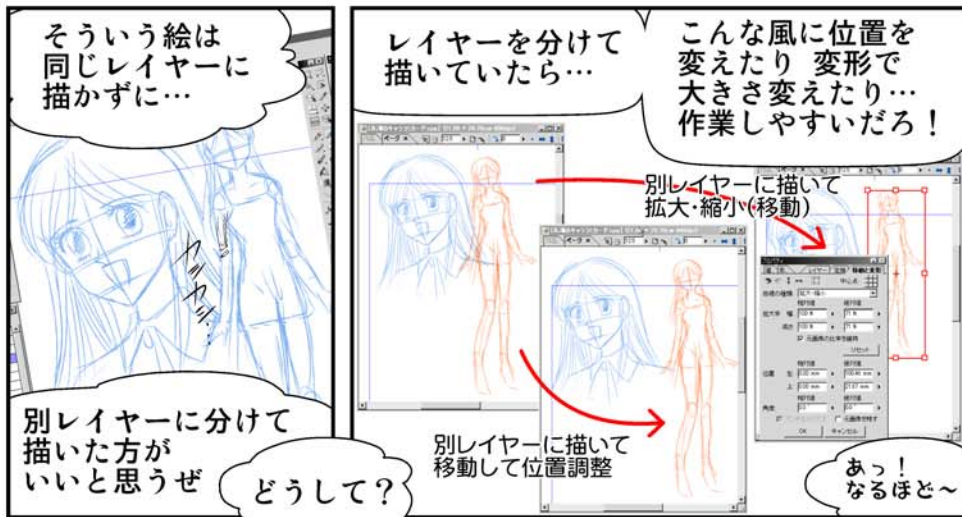
ここでは「鉛筆ツール」を、1bitレイヤー上で下描き用ツールとして使っています。



柔らかいタッチを出したい時は「不透明度」を下げるか、「ブラシコントロール」→「不透明度」の「固有の設定」を変更します。

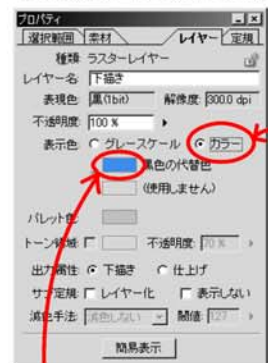


「鉛筆」が本領発揮するのは、8bit以上のレイヤーです。その使い方はまた後日に…

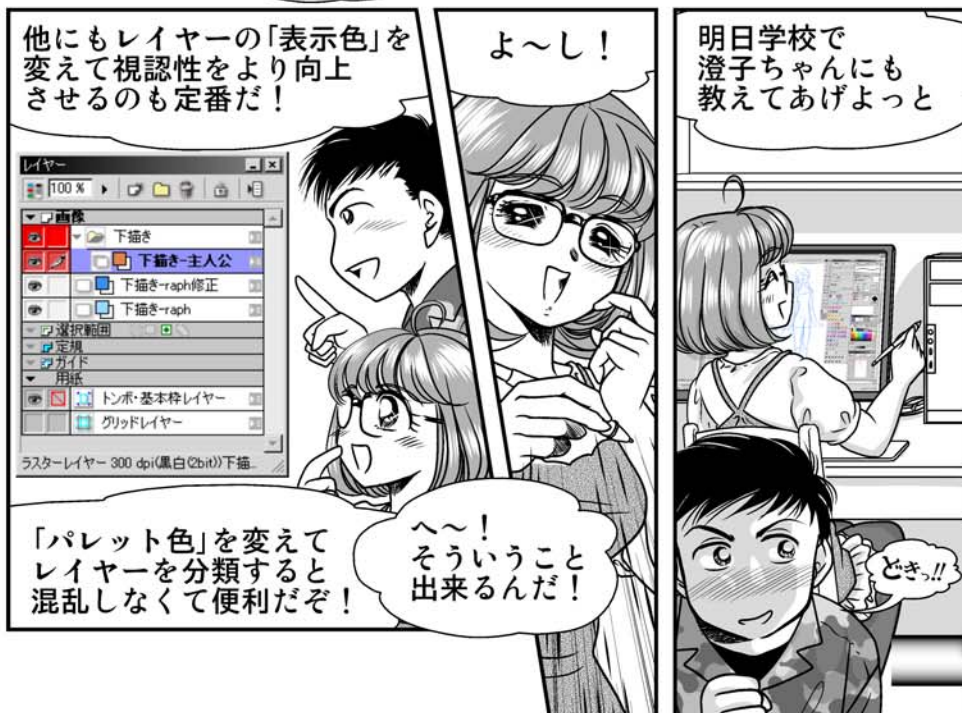


■レイヤーの表示色変更

レイヤー毎に表示色を変えてどのレイヤーに描いているか判り易くすると便利です。

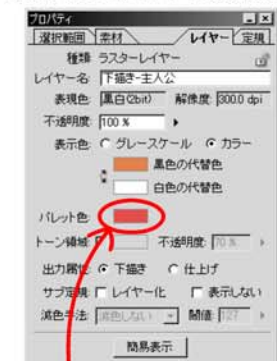


クリックで色の変更



■レイヤーのパレット色変更

レイヤーパレット上の色を変更すると、レイヤーの分類管理がやりやすくなります。自分で色の使い分けの法則を決めておくといいでしょう。



クリックで色の変更